

9条連 ニュース

— 世界へ未来へ —
Peace Constitution League
Since 1995.8.15
No.354

2024年8月20日 毎月1回 20日発行 1997年4月14日第3種郵便物認可

主な記事

- 巻頭言 近藤日佐子…………… 1
- 幹部自衛官の靖国汚染
- 幹部自衛官を靖国神社に繋いだ「偕行社」…… 2
- 沖縄の歴史的経験に基づいた抵抗運動
- 沖縄平和市民連絡会の活動…………… 4～5
- 地方報告・老いばれ記者の残日録…………… 6
- 政治展望台@・読者のたより…………… 7
- 本の紹介・平和川柳
- アーティクルナイン…………… 8

代表 浅井基文／浅野健一／植野妙実子／C・ダグラス・ラミス／常岡せつ子
中山弘正／樋口陽一／藤野美都子／山家悠紀夫

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
目黒さつきビル303号
TEL 03-5747-9994
FAX 03-5747-9919



ホームページはこちら

<https://9joren.net/> E-mail: 9joren@ams.odn.ne.jp 創刊号1995年1月20日発行 定価100円 年間購読料1,500円(郵送料含む) 郵便振替口座 00160-2-96579「9条連」

「憲法9条―世界へ未来へ 連絡会(9条連)」は1995年8月15日、戦後50年の年に産声を上げました。年明けの1月17日に阪神・淡路大震災が発生し、3月20日にはオウム真理教による地下鉄サリン事件が起きた年です。

8月15日の敗戦記念日には、当時の村山富市首相が声明を発表し、その中で

「わが国は、遠くない過去の一時、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました。私は、未来に過ち無からしめんとするが故に、疑うべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止め、ここにあらためて痛切な反省の意を表し、心からのお詫びの気持ちを表明いたします。また、この歴史がもたらした内外すべての犠牲者に深い哀悼の念を捧げます。」

としました。いわゆる村山談話と言われるものです。(参照:外務省HP「戦後50周年の終戦記念日にあたって」(村山談話))

この年の9月4日、沖縄で米兵による女子小学生暴行事件が起き、県民の怒りが爆発し、10月21日に約

いまなにをすべきなのか



近藤日佐子

8万5000人が結集した県民総決起大会が開催されましたが、29年たった今でも同じ事件が繰り返起きています。

今年もまた終戦記念日というごまかしの言葉が使われたままの敗戦記念日がやってきます。

さて、今回の都知事選は、首都から離れた地方から眺めていた者としては不可思議でかしげなものですが、分析するのではありません。この結果をどう分析も必要でしょうか、市民運動のあり方そのものを検証しなければならぬのではないのでしょうか。SNSやAIの力を軽視することなく、

知ってみることも必要でしょう。また、東京が変わったからといって地方が変わるといえるほど地方は単純ではありません。

東京から地方に移り住んで19年。地域の中に入り活動する中で痛切に思ったことがあります。頑なに残るオジサン社会、OBN(オールボーイズネットワーク)の壁です。お祭りの表舞台は男性、裏方の接待は女性という構図が変わらないままの地方は少なくありません。ブラックホールとも言われる東京に吸い込まれる若者は女性の方が多いということです。これからの市民運動、特に地方では自律した女性の力が必要です。9条連は首都圏だけではなく地方の組織も多くあり、それぞれの地方組織に女性の参加が求められます。

9条連は来年30周年を迎えます。正念場です。多くの市民と連帯した運動の輪をつくりあげるため、いまなにが必要で、なにが大切なのか、またなにをすべきなのか。

憲法9条の翼を世界へ未来へ羽ばたかせるため、9条の危機を救うために少し頭を柔らかくして、全国組織である強みを活かし、未来の人たちに穢れない9条を残そうではありませんか。

ごんじつやん/ソプラノ歌手・9条連事務局